

「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

東大和市立第四小学校 4年

	各教科の課題	具体的な授業改善策	補充的・発展的学習指導計画	評価
国語	○本文の叙述を基に理解を深めること。	○本文を読み、文章の内容や構成を整理して、場面の様子を想像しながら内容を理解できるようにする。 ・宿題、授業などで繰り返し音読し、内容理解を深める。 ・本文から根拠となる語句を見付けることを徹底する。 ○文字指導の徹底（語彙力の向上）を図る。 ・漢字小テストを定期的実施し、定着を図る。 ・正しい漢字が書けているか、日常的に確認する。	・漢字小テストの直し ・読書活動の推進	B
社会	○資料から見付けたことや気付いたことを活用して解決につなげていく力を養うこと	○調べたことを関連付けて考える力、地域に従事している人々の工夫や努力に気付く力を身に付けさせる。 ・見学、調査等の調べ活動を充実させる。 ・課題に対して予想をたて、その予想を基に考える活動を設定する。 ・関連に気付かせるための手だてを工夫する。 ・授業のまとめを自分の言葉で書かせる指導をする。	・調べる課題の明確化 ・見学・調査後の情報交換（交流活動） ・グループで課題の意見交流 ・キーワードの提示（授業のまとめ）	A
算数	○課題に取り組む力、基本的な計算力に課題があるため、基礎計算力を身に付けること	○数学的見方・考え方を働かせながら自力解決する。 ・一人一人の児童の理解に応じた少人数指導体制で指導する。 ・既習事項を活用した問題に取り組み、基礎基本を定着させる。	・週1回の四小タイムにてかけ算九九の復習 ・くりかえし計算ドリルを活用して計算の反復練習、補充問題	B
理科	○課題を解決するための実験計画を立てたり、実験結果から考察を行ったりする力を養うこと	○自ら課題を追究できる授業 ・事象に出会い、課題を見付けて解決していく授業を行う。 ・身近なものを生かした教材の工夫をする。 ○学習サイクルを大切に授業 ・ねらいを明確にし、学習への見通しをもたせる。 ・実験方法や観察の視点を理解させる。 ・変化と関係する要因の考察をさせる。 ・自然事象との出会いの中から問題を見付けさせる。	・観察、実験を行う上での視点を明確にする ・実験などの理学的技能の定着を図る ・ワークシートやデジタル教材を活用する	A
音楽	○表したい音楽表現をするために必要である基本的な歌唱・器楽の知識技能を身に付けること	○意欲的に学べる授業の工夫 ・生活の中の音や音楽と結び付け、興味関心をもてるように導入を工夫する。 ○知識・技能を身に付けるための学習の工夫 ・ペア練習やグループ活動を多く取り入れ、主体的に児童同士が学び合う時間を確保する。 ・ICTを効果的に活用し、基礎的な技能を理解しやすくする。	・年間を通して常時活動を行い、音楽の基礎基本を身に付ける。 ・様々な楽器や楽曲に触れられるようにする。	A
図工	○手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方を工夫してつくったり、表したりすること	○自分の思いや感じたことを自由に表せるような指導 ・道具や材料の取り扱いについて、繰り返し・継続的な指導をする。 ・ICTを活用した、自分で主題を選び創造する力の育成をする。	・1人1台端末を活用し、絵や写真を調べ、自分の表現に生かせるようにする。	A
体育	○自身の課題を解決するために工夫して運動に取り組む態度を養うこと	○めあてをもたせ、工夫して運動に取り組む態度を育成する。 ・各運動における、動きのポイントを提示し、自ら工夫してスモールステップで運動に取り組む。 ・毎時間のめあての確認と振り返りを実施する。 ・ペアやグループで教え合う活動を取り入れる。	・学習カードの工夫 ・スモールステップで練習する場の設定を工夫する。 ・1人1台端末等の撮影機能を適宜活用する。	A